

PACKAGE KOUFUKURON 2022
JIBUN to JIBUN



「パッケージ幸福論」というプロジェクトは2008年、パッケージデザイナーの大御所鹿目尚志先生（2017年に逝去）の発案でスタートしました。鹿目先生は、若手のインハウスパッケージデザイナー（メーカーなど企業に所属する企業内デザイナー）に声をかけて「普段、会社の中の仕事では発揮できていないであろう創造性の発出」に期待して展覧会をスタートさせました。その際、鹿目先生は展覧会ディレクターとしてCMディレクターである僕、なかじましんやを指名しました。展覧会のディレクション…僕はたんなる自由演技の発表会に終わらせるのはもったいない、と思い、「パッケージ幸福論」というお題を掲げました。デザインと人の幸福との関係を探るといふ大命題のもと、毎回テーマを定めてその解答としての作品を展示して世に問う、という展覧会を開催してきました。

自分と自分

以来メンバーたちは「パッケージ幸福論」でユニークな作品を発表しつつ、普段は仕事として様々な課題にデザインで応える毎日を送っています。展覧会用の「自分」とお仕事用の「自分」がいる。どっちがほんまの「自分」なんや？展覧会がスタートしてから14年、ここであらためて自分の中にいる二人の「自分」をテーマにすることにしました。14年のあいだに「自分」は変わったのか変わらなかったのか。一方の「自分」はもう一方の「自分」に何か影響を与えたりしたのかしなかったのか。この「自分」がああ「自分」の足を引っ張っていないか、あるいはこの「自分」がああ「自分」を応援してくれたりしてへんのか…「自分」と「自分」を見つめ直すことにはある意味この「パッケージ幸福論」という展覧会の本質に迫るものになるかもしれません。

今の「自分」は幸福なのか。何が「自分」の幸福なのか。パッケージ幸福論「自分と自分」いろんな「自分」の思いを感じていただければ、と思います。

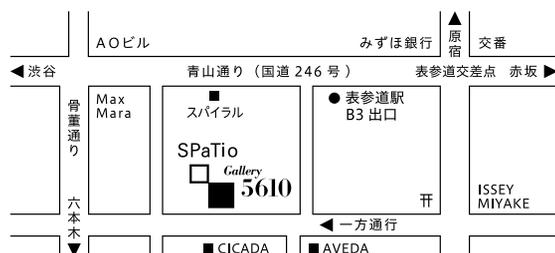
CMディレクター
東北新社エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター
なかじましんや

PACKAGE KOUFUKURON 2022 JIBUN to JIBUN 2022.10.23 SUN - 11.6 SUN

パッケージ幸福論
2022



最新の情報は
公式 Facebook



Gallery
5610

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線
表参道駅B3出口より3分
東京都港区南青山5-6-10 5610番館
TEL. 03-3407-5610 www.deska.jp

展覧会名
パッケージ幸福論二〇二二
「自分と自分」展

会期
十月二十三日(日)～十一月六日(日)
平日十一時～十八時
金・土十九時迄/日・祝・最終日十七時迄
会期中無休・入場無料

オープニングパーティ
十月二十三日(日) 十六時～十九時

場所
ギャラリー5610

参加メンバー
石浦弘幸、石田清志、井上大器、
大上一重、籠谷隆、木村雅彦、
杉山ユキ、田中健一、廣瀬賢一
ディレクション 中島信也
総合プロデュース 鹿目尚志
宣伝美術 白井陽平